

平成24年度（2012年度）
学生募集要項
一般選抜／社会人特別選抜

京都市立芸術大学
音楽学部

○下記の書類がとじ込みされているかご確認ください。

- (1) 入学願書（受験票・払込受付証明書貼付票）
- (2) 入学審査料払込取扱票
- (3) 封筒（入学願書等提出用）
- (4) 封筒（受験票返送用）

京都市立芸術大学 事務局 教務学生支援室（音楽担当）
〒610-1197京都市西京区大枝沓掛町13-6 TEL075-334-2222

◆音楽学部 の基本理念

個性と芸術性を尊重する創造力豊かな音楽芸術の教育と研究を行い，その成果を歴史ある京都の地から発信し，世界の音楽文化の発展に貢献します。

◆音楽学部 アドミッション・ポリシー

音楽芸術の専門教育を受けるに足る基礎的技術と知識，強い学習意欲を持ち，個性と芸術的創造力にあふれる人材を求めます。

I 一般選抜

(社会人特別選抜に該当しない志願者が対象です。)

1 募集人員

音楽学科 (作曲専攻・指揮専攻計4名, ピアノ専攻14名, 弦楽専攻14名, 管・打楽専攻14名, 声楽専攻14名, 音楽学専攻3名) 総計63名

*本学部は後期日程のみの募集です。

*音楽学専攻の3名は社会人特別選抜の募集人員を含みます。

2 出願資格

平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験を受験していること。

大学入試センター試験のうち受験しなければならない教科・科目は次のとおりです。

そのうち1教科でも欠席した場合は不合格となります。受験科目を十分確認のうえ、出願してください。

(前年度(平成23年度)の成績を利用することはできません。)

(1) 作曲, 指揮, ピアノ, 弦楽, 管・打楽, 声楽の各専攻については

ア 国語

イ 外国語(英語(リスニングを含む。), ドイツ語, フランス語から1科目選択)

(2) 音楽学専攻については

ア 国語

イ 外国語(英語(リスニングを含む。), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から1科目選択)

ウ 地理歴史(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」), 公民(「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「論理, 政治・経済」), 数学(「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」) から1教科1科目選択

*外国語のうち英語を選択受験した場合の配点は, 筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算します。

なお, リスニングテストを受験しなかった場合は失格となります。

ただし, リスニングテスト免除者については, 筆記試験の成績を換算せずに利用します。

*地理歴史, 公民での2科目受験者については, 第1解答科目の得点を採用します。

*「地理歴史, 公民」と「数学」を受験の場合は, 「地理歴史, 公民」(第1解答科目)と「数学」の高得点の一教科を採点の対象とします。

3 出願手続(願書受付)

(1) 出願期間 平成24年(2012年)1月23日(月)から2月1日(水)まで。

2月1日(水)当日までの消印のある速達・簡易書留郵便にて到着したものを受理します。

(2) 出願方法 本学から交付した封筒に下記提出書類を一括同封し, **必ず速達・簡易書留**で郵送してください。(直接大学に持参されても受け付けません。)

(声楽専攻志望者のみ, 伴奏用楽譜を同封して郵送すること(18ページ参照。))

(3) 入学考査料 17,000円

ア とじ込みの「払込取扱票」により, 郵便局窓口(ATMからの払込は不可)へ払い込んでください。(要手数料)

イ 願書提出後, 考査料は一切返還しません。

(4) 郵送先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学事務局教務学生支援室

(5) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で, 身体に障害(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・その他)がある者は, 受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので, 出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

また, 申し出に基づき, 相談が必要となった場合は以下のとおりとします。

ア 申し出期限 平成24年(2012年)1月13日(金)まで

イ 相談の方法

下記事項を記載した申請書（様式は問いません。）に医師の診断書を添えて提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接等を行います。（期限後に、受験上及び修学上特別な配慮が必要になった志願者は、速やかに連絡してください。）

- (ア) 志望専攻 (イ) 障害の種類・程度 (ウ) 受験上の特別な措置を希望する事項
(エ) 修学上の特別な配慮を希望する事項 (オ) その他参考となる事項

4 提出書類

(1) 入学願書（用紙は本要項にとじ込み）

ア 記入する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、登録原票記載事項証明書に記載されている氏名と同一のこと。その他の提出書類についても同様とします。

イ 志望専攻が弦楽専攻、管・打楽専攻の場合は、（ ）内に楽器名を必ず記入してください。

出願後の変更は認めません。

*この入学願書に記載された個人情報は受験手続のために使用し、それ以外の目的には利用しません。

(2) 平成24年度大学入試センター試験成績請求票

（後期日程用）を入学願書の所定欄に貼付すること。

〔なお、同一日程グループに属する2つ以上の大学、学部等への出願（いわゆる重願）はできません。〕

(3) 調査書

ア 出身学校長が作成し、厳封したもの（開封無効）。

イ 出身校が廃校その他やむをえない事情のため調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績証明書等を調査書に代えて提出してください。

ウ 大学入学資格検定及び高等学校卒業程度認定試験の合格者は、その合格成績証明書を提出してください。

(4) 写真

ア 縦4 cm、横3 cmの上半身・無帽・正面向きのもの

イ 出願前3か月以内に撮影した同一のものを3枚

ウ 「入学願書」「受験票」「受験票（控）」の所定欄にそれぞれ貼付してください。

(5) 受験票送付用封筒

本要項にとじ込みの指定封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、650円切手（簡易書留・速達）を貼付してください。

(6) 振替払込受付証明書

入学料の払込と同時に郵便局から交付される「振替払込受付証明書」を入学願書の「払込受付証明書貼付票」に貼付してください。

5 受験票

(1) 出願書類受付後、2月20日（月）以降に本学から郵送します。

(2) 2月末までに到着しない場合は、電話等により事務局教務学生支援室に問い合わせてください。

(3) 受験番号は次の区分とします。

作曲専攻	21001～
指揮専攻	22001～
ピアノ専攻	23001～
弦楽専攻	24001～
管・打楽専攻	25001～
声楽専攻	26001～
音楽学専攻	27001～

6 出願状況

本学の出願状況について、次のとおり速報します。

(1) ホームページ

URL <http://www.kcua.ac.jp/>

(2) テレフォンサービス

電話番号 075 (333) 3988

期 間 平成24年(2012年)1月24日(火)から2月2日(木)まで
各日とも24時間対応

内 容 出願者数及び倍率

7 入学試験

(1) 試験科目及び配点

受験者全員に第一次試験を行い、第一次試験合格者に対して、第二次試験を行います。

*大学入試センター試験の配点は、作曲、指揮、ピアノ、弦楽、管・打楽、声楽の各専攻については国語200点、外国語200点です。音楽学専攻については国語200点、外国語200点、選択教科200点(素点100点)です。

ア 第一次試験(900点)

専攻試験 作曲、指揮、ピアノ、弦楽、管・打楽、声楽の各専攻は実技試験(10ページ以下参照)

音楽学専攻は英語、小論文、面接(各300点)

イ 第二次試験(400点)

A 作曲専攻、指揮専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、音楽学専攻

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取(旋律聴音・和声聴音)
- (c) 新曲視唱
- (d) 副科ピアノ演奏

B ピアノ専攻

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取(旋律聴音・和声聴音)
- (c) 新曲視唱
- (d) ピアノ新曲視奏

C 声楽専攻

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取(旋律聴音・和声聴音)
- (c) 新曲視唱, コールユーブンゲン視唱(全訳書第1巻から当日1曲指定)
- (d) 副科ピアノ演奏

(2) 合否判定について

- ・第一次試験合否判定は第一次試験(専攻試験)の成績のみによって行います。
- ・最終合否判定は、第一次試験、第二次試験及び大学入試センター試験の成績を総合的に判断して行います。
- ・最終合否判定に際しては、第一次試験の成績を優先して考慮する場合があります。
- ・最終合否判定に際しては、作曲専攻、指揮専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻については、カリキュラム実施上の理由から、入学者間の数的バランスを考慮する場合があります。

(3) 試験場

本学音楽学部

京都市西京区大枝沓掛町13-6

電話(075)334-2222(事務局教務学生支援室)

(4) 試験日程

		作曲	指揮	ピアノ	声楽	弦楽	管打楽	音楽学
第一次 試験	3月12日(月)	●		●			●	●
	3月13日(火)	●		●			●	●
	3月14日(水)	●	●		●	●		
	3月15日(木)	●	●		●	●		
3月16日(金)		第一次試験合格者発表(午後3時予定)(本学中央棟1階) 第一次試験合格者には、第二次試験の受験要領を交付します。 ※同日、午後4時(予定)から第一次試験合格者の受験番号及び第二次試験の受験要領を本学ホームページ(http://www.kcua.ac.jp/)で掲載します。ただし、この掲載は情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできません。電話等による問い合わせには一切応じません。						
第二次 試験	3月17日(土)	第一次試験合格者のみ第二次試験を実施します。 音楽通論、聴音書取、 新曲視唱、コールユーブンゲン視唱、 ピアノ新曲視奏、副科ピアノ演奏						
(注)		1 第一次試験の試験開始時刻などの試験日程、諸注意については、受験票送付時に同封してお知らせします。 2 受験順(演奏順)については、本学音楽学部にて厳正に抽選を行い決定します。 3 第二次試験の試験日程について ピアノ専攻は午前9時、その他の専攻は午前10時30分からの開始予定です。各専攻とも、午後にも試験があります。 詳細は、第一次試験合格者への受験要領でお知らせします。(中央棟1階ギャラリー前で交付)						

(5) 受験者諸注意

- ア 試験当日、定められた時刻に集合し、係員の指示を待つこと。本学への入口は正門のみとします。
- イ 本学受験票及び大学入試センター試験受験票を必ず持参してください。
- ウ 受験票交付及び試験に急病その他事故のため定刻に集合できない事情が発生した場合は、速やかに事務局教務学生支援室(075-334-2222)まで連絡してください。
- エ 定められた試験科目を期間内において1科目でも欠席すると、以降の試験科目は受験できません。
- オ 試験に関する不正行為があったときは、試験を無効とし、退席させます。
- カ 2月23日(木)以降は全学立入禁止となるので、試験場構内の下見はできません。
- キ 原則として付き添いの構内入場は許可しません。
- ク 受験生のための駐車場・駐輪場は設けていません。

(6) その他

他の国公立大学(私立産業医科大学を含む、以下同じ。)の推薦入学合格者で入学手続を行った者は、本学試験を受験できません。たとえ受験しても受験者として取り扱いません。(入学辞退を許可された場合を除く。)また、前期日程試験に合格し、3月15日(木)までに入学手続を行った者は、本学実施試験を受験しても合格者とはなりません。

8 最終合格者発表

平成24年3月20日(火)午後4時(予定)本学内に掲示し、同日、合格者には文書で通知します。なお、合格発表日の午後5時(予定)から約1週間、本学ホームページ(<http://www.kcua.ac.jp/>)で合格者の受験番号を掲載します。(※注意)ただし、本学掲示発表ならびに、合格通知の発送をもって正式なものとしします。

電話等による問い合わせには、一切応じません。

※注意 本学ホームページでの合格者の受験番号掲載は情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできません。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

最終合格者は3月24日（土）から3月27日（火）の間に入学手続を完了してください。
郵送による手続は認めません。

この日までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

(2) 場 所 京都市立芸術大学事務局教務学生支援室（中央棟2階） （取扱い時間8時30分から17時まで）

(3) 入学手続の方法

本学の入学手続に際し、必要なものは次のとおりです。

ア 入学料の納付 市内出身者 282,000円
市外出身者 482,000円

注意（ア）市内出身者とは、入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票（写し）又は登録原票記載事項証明書（外国人）により証明される者

（イ）上記の入学料は平成23年度（2011年度）入学者の場合であり、改定があった場合は合格者に通知します。

イ 誓約書の提出（正・副保証人）

ウ 大学入試センター試験受験票の提示

*なお、入学時に必要な納付金及び提出書類については、合格通知と同時に合格者に通知します。

(4) 注意事項

一つの国公立大学に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

〔3月27日（火）の入学手続締切以前に、先に入学手続を行った大学が定める〕
〔手続により当該大学への入学辞退を許可された者を除きます。〕

なお、入試業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送られることがあります。

10 追加合格

3月27日（火）入学手続締切後欠員が生じた場合は追加合格を行います。

追加合格は3月28日（水）から3月31日（土）までに行いますので、その期間は必ず連絡が取れるようにしてください。（連絡は大学から行い、受験生からの問い合わせには一切応じません。）

11 試験の成績照会について（第二次試験不合格者のみ）

第二次試験を受験して不合格となり、試験結果（不合格理由）の通知を希望する者は、不合格理由開示請求、受験番号、専攻、氏名を明記し、返信用封筒（定形封筒に宛先記入、80円切手貼付）を同封のうえ、4月30日（月）までに事務局教務学生支援室まで郵送で請求してください。なお、電話、Eメール等での問い合わせには応じません。回答内容は、合格基準を満たさなかった項目にチェック印（✓）を入れたものとなります。（期限後の照会には応じません。）

12 必要経費

（参考：平成23年度（2011年度）入学者）

授 業 料	535,800円	・前期	267,900円（納期4月中）
		・後期	267,900円（納期10月中）
入 学 料	282,000円（市内出身者） 482,000円（市外出身者）	} 3月27日（火）までに納付	

そ の 他

音楽教育後援会会費

100,000円（学部4年間分）…………… 3月30日（金）までに納付

真声会（同窓会）入会金

15,000円…………… 3月30日（金）までに納付

学生教育研究災害傷害保険料

3,300円（学部4年間分）…………… 3月30日（金）までに納付

学研災付帯賠償責任保険料

1,360円（学部4年間分）…………… 3月30日（金）までに納付

附 記

- 1 本学には寮の施設はありません。
- 2 本学には、日本学生支援機構（旧・日本育英会）、地方自治体、各種企業等の奨学金制度があります。
- 3 本学には授業料の減免制度があります。

Ⅱ 社会人特別選抜

（音楽学専攻のみの募集です。）

1 募集人員

音楽学科 音楽学専攻 若干名

* 本学部は後期日程のみの募集です。

* 社会人特別選抜の募集人員は、一般選抜の音楽学専攻募集人員3名に含まれます。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者で、平成24年4月1日までに満23歳に達し、社会人（就職の有無は問わない。）の経験を4年（※）以上有する者

※学校の通学期間は、社会人の経験期間に含めません。（定時制・夜間・通信制の学校を除く。）

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び平成24年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び平成24年3月修了見込みの者
 - (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
- ウ 文部科学大臣の指定した者
- エ 大学入学資格検定規定（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者
- カ 上記ア～オ以外で、本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

* 各種学校（外国人学校等）の修了生（修了見込みの者を含む。）で入学資格認定を希望する者は、平成24年1月6日（金）までに事務局教務学生支援室に所定の書類を提出してください。

3 出願手続

一般選抜に同じ

4 提出書類

(1) 入学願書（用紙は本要項にとじ込み）

ア 記入する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は，登録原票記載事項証明書に記載されている氏名と同一のこと。その他の提出書類についても同様とします。

イ 平成24年度大学入試センター試験成績請求票貼付欄にある社会人特別選抜欄に○印を付けること。

(2) 志願理由書（本学から交付したもの）

本専攻を志願した理由等を具体的に書き，履歴欄に最終学歴と職歴を記入すること。

(3) 卒業・修了証明書及び成績証明書

最終学歴の卒業・修了証明書又は見込証明書及び成績証明書（厳封したものに限る。）

(4) 写真

ア 縦4 cm，横3 cmの上半身・無帽・正面向きのもの

イ 出願前3か月以内に撮影した同一のものを3枚

ウ 「入学願書」「受験票」「受験票（控）」の所定欄にそれぞれ貼付してください。

(5) 受験票送付用封筒

本要項にとじ込みの指定封筒に志願者の郵便番号，住所，氏名を明記し，650円切手（簡易書留・速達）を貼付してください。

(6) 振替払込受付証明書

入学考査料の払込と同時に郵便局から交付される「振替払込受付証明書」を入学願書の「払込受付証明書貼付票」に貼付してください。

5 受験票

一般選抜に同じ ただし，受験番号は次の区分とします。

音楽学専攻 27501～

6 出願状況

一般選抜に同じ

7 入学試験

一般選抜に準ずる。

ただし，大学入試センター試験を免除します。

8 最終合格者発表

一般選抜に同じ

9 入学手続

一般選抜に準ずる。

ただし，大学入試センター試験受験票の提示は不要

10 追加合格

一般選抜に準ずる。

ただし，一般選抜を含めた音楽学専攻志願者の中から追加合格を行います。

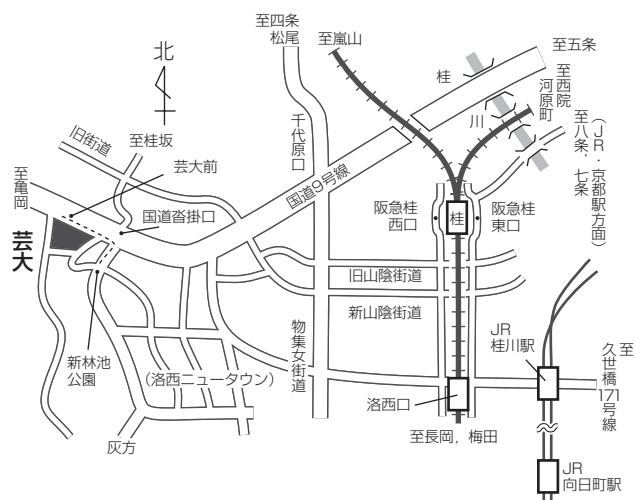
11 試験の成績照会について（第二次試験不合格者のみ）

一般選抜に同じ

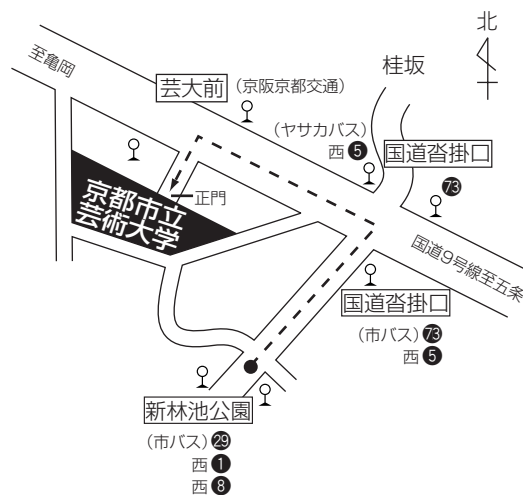
12 入学後の必要経費

一般選抜に同じ

◆試験場への略図



◆芸大周辺略図



◆試験場への交通機関

〈最寄バス停〉

京阪京都交通	芸大前	下車すぐ
市バス	新林池公園	本学正門まで徒歩約20分
	国道沓掛口	〃 10分
ヤサカバス	国道沓掛口	〃 10分

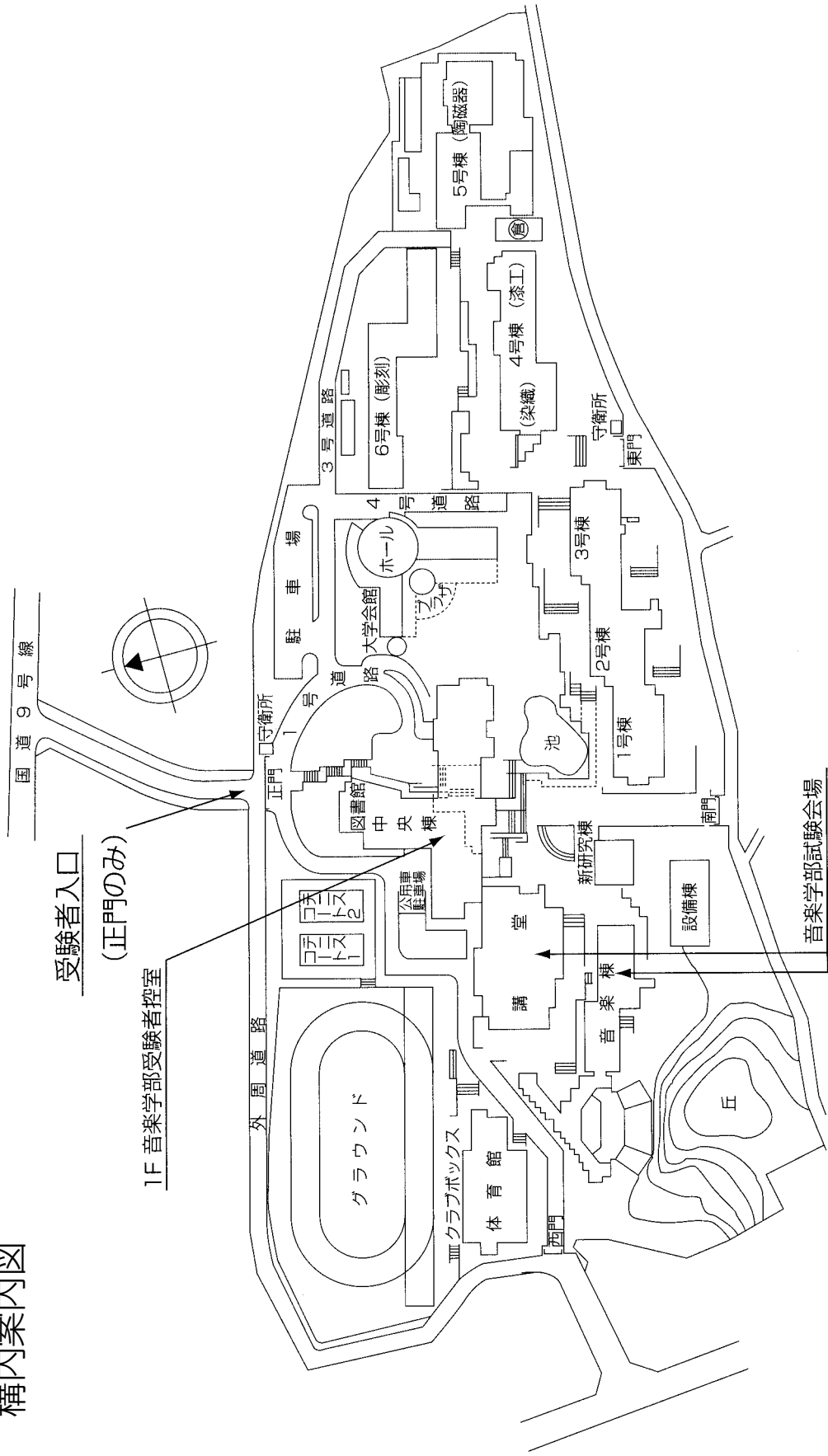
〈主要ターミナルからの交通機関 (バス)〉

平成23年7月1日現在

	所要時間	
京阪京都交通	阪急桂駅東口 から 約20分	1・2・13 (13Bは除く)・14・25・28系統
	JR 京都駅 から 約45分 (烏丸中央口C2のりば)	2・14・28系統
	JR 桂川駅 から 約15分	11A系統 (平日は8:00~16:00, 土日は8:00~15:00の間, 1時間に1便運行されます。)
		芸大前 下車
市バス	阪急桂駅西口 から 約20分	西1・西5・西8系統 (昼間時間帯(10~16時)は西1系統の代わりに西8系統が運行されます。)
	JR 京都駅 から 約45分 (烏丸中央口C5のりば)	73系統
	四条烏丸 から 約50分	29系統
		西1・西8・29系統 新林池公園 下車 西5・73系統 国道沓掛口 下車
ヤサカバス	阪急洛西口駅 から 約15分	桂坂中央ゆき①系統
	JR 桂川駅 から 約17分	
	JR 向日町駅 から 約20分	
		国道沓掛口 下車

- (注) 1. 交通機関の利用については、路線並びにダイヤの変更、周辺の交通事情等を把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
2. バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

京都市立芸術大学 構内案内図



平成24年度（2012年度）
音楽学部入学試験各専攻実技課題

作曲専攻

(第1日) 和声法：A ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ，4声体とすること。
B バス課題：与えられたバスに和声をつけ，4声体とすること。

(A, Bとも記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間各2時間30分
作品提出：自作品を1曲以上，試験当日に提出すること。(コピー提出可。提出された作品は返却しない。)

(第2日) 二声対位法：与えられた全音符の定旋律に，対旋律をつくる。試験時間3時間
対旋律は，2分音符，4分音符，8分音符と移勢（シンコーション）を含む，いわゆる自由（華麗）対旋律によるものとする。

解答は，次の1～6の6通りが必要である。

- 1：定旋律をバスに置き，対旋律をソプラノに作る。
- 2：定旋律をバスに置き，対旋律をアルトに作る。
- 3：定旋律をバスに置き，対旋律をテノールに作る。
- 4：定旋律をソプラノに置き，対旋律をアルトに作る。
- 5：定旋律をソプラノに置き，対旋律をテノールに作る。
- 6：定旋律をソプラノに置き，対旋律をバスに作る。

なお，定旋律は，ソプラノとバスにおいて，適宜に移調してもよい。

(記譜はa又はbのいずれかを選択する。a：ソプラノ，アルト，テノール，バス記号による。ト音記号は用いない。b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

実施例（aによる記譜）は別記のとおり。)

(第3日) 作曲：与えられた素材により器楽曲を作曲すること。試験時間4時間30分

(第4日) 面接を行う。

◎作曲専攻（第2日）二声対位法の実施例は下記のとおりである。

定旋律

実施例

1

2

3

4

5



指揮専攻

- (第1日) 1 下記の楽曲を指揮すること。全楽章の中から当日、演奏部分を指定する。(演奏はピアノによるものとする。)
- (ア) L. v. Beethoven：交響曲 第1番 ハ長調 作品21
 - (イ) F. Schubert：交響曲 第8(7)番 ロ短調 D. 759「未完成」
いずれも全楽章。楽譜の出版社は自由とする。
- 2 当日提示する楽曲による総譜視奏(スコアリーダーディング)
- (ア) L. v. Beethoven：交響曲 第1番 ハ長調 作品21の第2楽章の総譜(スコア)を見てピアノで演奏すること。
 - (イ) 初見視奏(ソプラノ記号, アルト記号, テノール記号を含む場合がある。)
- 3 既に習得しているピアノ以外の楽器(弦楽器, 管打楽器, ハープのうちいずれか1つ)若しくは声楽を演奏すること。その場合, 楽器は各自持参すること。ただし, コントラバスについては, 楽器を持参できない場合は, 本学で用意するので, 楽器を持参するか否かを願書に記入すること。マリンバについては, 本学で用意する楽器を使用すること。なお, すべて無伴奏とし, 演奏曲目を願書に明記すること。
- 4 和声法: 与えられたソプラノとバスの旋律に和声をつけ, 4声体とすること。(記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間3時間
- (第2日) 面接を行う。

ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

- (第1日) 1 ロマン派以降の作品から, 練習曲以外の任意に選んだ作品。
- (第2日) 2 F. Chopin: 練習曲作品10及び作品25から任意の2曲を選択し, 第1日目に, 本人による抽選で, 演奏する1曲を決定する。
- 3 J. Haydn又はM. Clementi又はW. A. Mozart又はL. v. Beethovenの, 任意のソナター曲全楽章を選択し, 第1日目に本人による抽選で, 演奏する(1つの, あるいは複数の)楽章を決定する。

- ※注意 (1) いずれも暗譜演奏すること。
- (2) 繰り返しは自由。但し, ソナタ形式の提示部については繰り返ししないこと。
- (3) 演奏するすべての曲の作曲者, 作品番号, 楽章, 調名を願書に明記すること。
- (4) 1については7分以上12分程度までとする。
- (5) 1については, 変奏曲の抜粋は認めない。
- (6) 2について, 以下の曲は除く。
作品10から3, 6, 9 作品25から1, 2, 7
- (7) 2について, 作品番号にかかわらず2曲を選択することも可。
(例: 10-1 10-2 あるいは25-4 25-5 あるいは10-1 25-4)
- (8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- ※注意 (1) 選択した曲目及び調名を願書に明記すること。
(2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
(3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かを願書に記入すること。
(4) 時間の都合上カットすることがある。

*ヴァイオリン

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただしLaloのスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。

M. Bruch: 協奏曲 第1番 ト短調 作品26

A. Dvořák: 協奏曲 イ短調 作品53

(Adagio ma non troppoからFinaleの前までを第2楽章とする。)

E. Lalo: スペイン交響曲 ニ短調 作品21

F. Mendelssohn: 協奏曲 ホ短調 作品64

N. Paganini: 協奏曲 第1番 ニ長調 作品6

(オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)

C. Saint-Saëns: 協奏曲 第3番 ロ短調 作品61

J. Sibelius: 協奏曲 ニ短調 作品47

P. Tchaikovsky: 協奏曲 ニ長調 作品35

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Vieuxtemps: 協奏曲 第4番 ニ短調 作品31

H. Vieuxtemps: 協奏曲 第5番 イ短調 作品37

(カデンツァはなし。AdagioからAllegro con fuocoの前までを第2楽章とする。)

H. Wieniawsky: 協奏曲 第1番 嬰へ短調 作品14

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Wieniawsky: 協奏曲 第2番 ニ短調 作品22

(第2日) 1 C. Flesch: Scale SystemよりNo. 5, 6, 7, 8, 9, 10 ただしNo. 6～No. 10は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただしNo. 6, 7, 8, 9, 10は4分音符単位(16分音符4個分)で、スラーをかけることとする。

○速度はNo. 5はメトロノームで4分音符=80以上, No. 6～10は8分音符=60以上で演奏すること。

2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

P. Rode: 24Caprices

J. Dont: Etüden und Capricen 作品35

N. Paganini: 24Caprices 作品1 (ただし、4小節以下の繰り返しはすること。)

*ヴィオラ

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz: 協奏曲 ニ長調 作品1 第1楽章及び第2楽章(版は自由とする。カデンツァを除く。)

J. Christian Bach: 協奏曲 ハ短調 第2楽章及び第3楽章(SALABERT版を使用すること。カデンツァを含む。)

A. Hoffmeister: 協奏曲 ニ長調 第1楽章及び第2楽章(IMC版を使用すること。カデンツァを除く。)

C. M. v. Weber : Andante e Hungarian Rondo (IMC版を使用すること。)

M. Reger : Suite 作品131d No.1 第1楽章及び終楽章

G. Enesco : Concert piece

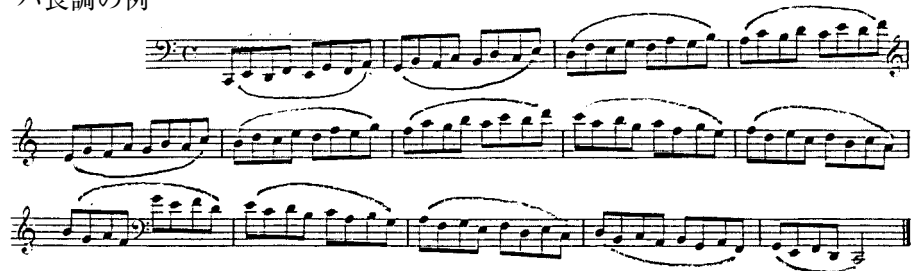
- (第2日) 1 C. Flesch : Scale SystemよりNo. 5, 6, 7, 8
ただしNo. 6, 7, 8は最初の4小節のみとする。
○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。
○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただしNo. 6, 7, 8は8分音符
単位(16分音符2個分)で、スラーをかけることとする。
○速度は任意である。
- 2 B. Campagnoli : 41 Caprices 作品22より 任意の1曲を選択し、演奏すること。
(版は自由とする。)

*チェロ

- (第1日) 1 J. Haydn : 協奏曲 第1番 ハ長調 Hob. VIIb. 1より 第2楽章 第16小節
目から第46小節目までを演奏すること。
- 2 下記の中からいずれか1曲を選択し、その第1楽章又は< >内の課題を演奏
すること。
- A. Dvořák : 協奏曲 ロ短調 作品104
J. Haydn : 協奏曲 第1番 ハ長調 Hob. VIIb. 1
協奏曲 第2番 ニ長調 Hob. VIIb. 2
※第1番, 第2番共にカデンツァは除く。
- D. Kabalevsky : 協奏曲 第1番 ト短調 作品49
E. Lalo : 協奏曲 ニ短調<第1楽章より23小節目から117小節目まで及び211小
節目から233小節目まで>
C. Saint-Saëns : 協奏曲 第1番 イ短調 作品33<第1楽章より冒頭から111
小節目まで, 第3楽章より440小節目から480小節目まで及び
534小節目から576小節目まで>
R. Schumann : 協奏曲 イ短調 作品129
P. Tchaikovsky : ロココ風の主題による変奏曲 作品33<主題, 第1変奏曲,
第2変奏曲, 第3変奏曲, 第7変奏曲> (W. Fitzenhagenに
よる改作版を使用のこと。)

- (第2日) 1 J. LoebのGammes et arpèges (Billaudot版)を参照のうえ、任意の調性により
下記 (a) から (f) までの課題を演奏すること。ただし全て同一の調性である
こと。
(a) 4オクターヴにわたる単音の音階 (スラーは1弓8音 ↓ = 100以上)
(b) 4オクターヴにわたる単音分散3度の音階 (スラーは1弓8音 ↓ = 100以
上)

ハ長調の例



- (c) 4 オクターヴにわたるアルペジオ (スラーは1弓6音 ↓ =60以上)
- (d) 2 オクターヴにわたる重音3度の音階 (スラーは自由 ↓ =80以上)
- (e) 2 オクターヴにわたる重音6度の音階 (スラーは自由 ↓ =80以上)
- (f) 1 オクターヴにわたる重音8度の音階 (スラーは自由 ↓ =80以上)
- (注) (d) (e) (f) の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。

2 下記の中からいずれか1曲を選択し演奏すること。ただし、試験当日の演奏時間はいずれも5分までとする。

J. Dotzaur : 113 Etüden 第3巻より第75番, 第76番, 第77番, 第80番, 第81番, 第82番, 第83番

J. Duport : Etudes (ただし, 第3番, 第4番, 第5番, 第19番は除く。)

S. Lee : Melodische Etüden 第2巻 作品31より第23番, 第27番, 第33番, 第34番, 第38番

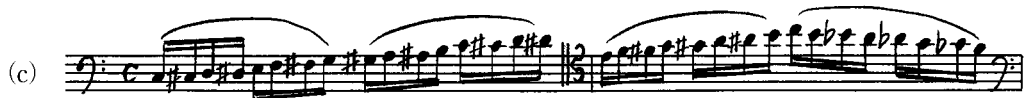
※上記指定以外の全ての楽曲及び練習曲の版は自由とする。

***コントラバス**

(第1日) 任意ソナタの第1楽章及び第2楽章又は協奏曲の第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 下記 (a) ~ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。(速度は自由)

2 J. Hrabec : 86 Etudes より第7番 (変ロ長調, Andantino) を演奏すること。





管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- ※注意 (1) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること。(繰り返しはしない。)
 (2) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
 (3) 時間の都合上カットすることがある。

*フルート

- (第1日) E. Köhler : 12 Medium Difficult Exercises 作品33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲 (C. Fischer版)
 (第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 (K⁶. 285C) 第1楽章 (カデンツァを除く。)

*オーボエ

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot版) より第1番, 第3番, 第5番, 第10番, 第12番, 第13番, 第16番, 第18番, 第22番, 第27番の中から当日指定する曲
 (第2日) J. Haydn : 協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg : C1 第1, 第2楽章 (Breitkopf版)

*クラリネット

- (第1日) C. Rose : 32 Etudesより第8番, 第13番, 第15番, 第17番, 第18番, 第19番, 第20番, 第21番, 第24番, 第32番の中から当日指定する曲
 (第2日) Carl Maria von Weber : Concertino Es-Dur 作品26

*ファゴット

- (第1日) J. Weissenborn : Fagott Studien 作品8 第2巻より第1番から第15番までの中から当日指定する曲 (繰り返しなし, 版の指定なし)
 (第2日) G. P. Telemann : Sonata for Fagott and Basso Continuo f-moll 第1楽章 Triste, 第2楽章 Allegro (繰り返しなし, 版の指定なし。)

***ホルン**

(第1日) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies (C. Fisher版, 繰り返しなし) より第7番, 第12番, 第13番, 第15番, 第16番, 第19番, 第23番, 第25番, 第27番, 第28番の中から当日指定する曲

(第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第4番 変ホ長調 KV. 495 全楽章より当日指定 (ただし第3楽章は第99小節目まで)

***トランペット**

(第1日) 1 ARBAN : Célèble Méthode Complète de TROMPETTE III^{ème} Partie 27 Etudes modernesより 第2番 (Georges DELERUE), 第3番 (Marcel BITSCH), 第4番 (R. SABARICH), 第7番 (A. AMELLER), の中から当日指定する曲。
(Alphonse Leduc版)

2 E. F. Goldman : PRACTICAL STUDIES FOR THE TRUMPETより第15番 Legato, 第16番Slurring, 第17番Slurringの中から当日指定する曲 (CARL FISCHER版)

(第2日) G. ALARY : MORCEAU DE CONCOURS (Alphonse Leduc版)

楽譜の入手が困難な場合は, 教務学生支援室にお問い合わせ下さい。

***トロンボーン**

(第1日) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (C. Fischer版) Book Iより第8番, 第10番, 第13番, 第15番, 第18番, 第19番, 第20番, 第22番, 第31番, 第34番の中から当日指定する曲

(第2日) F. David : Konzertino 変ホ長調 Op.4 第1楽章 (Zimmermann版を使用すること。カデンツァを含む。)

***バス・トロンボーン**

(第1日) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer版) より 第2番, 第3番, 第4番, 第5番, 第6番, 第7番, 第8番, 第9番, 第10番, 第11番の中から当日指定する曲

(第2日) F. David : Konzertino 変ロ長調 第1楽章 (Zimmermann版を使用すること。カデンツァを含む。)

***チューバ**

(第1日) 1 C. Kopprasch : 60 Selected Studies より第5番, 第7番, 第8番, 第9番, 第10番, 第11番, 第12番, 第13番, 第14番, 第15番の中から当日指定する曲

2 M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies より第2番~第10番の中から当日指定する曲

(第2日) Walter S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tube (Elkan-Vogel版) より第1楽章, 第2楽章, 第4楽章

***打楽器**

打楽器 (A), 打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A, Bいずれを選択したか, またAについては選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏, 座奏いずれも可。両日とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器 (A)

(第1日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drumより47ページ<Roll exercise in 4/4 II>, 48~49ページ<Etude in 6/8>の中から当日指定する曲

- (イ) Garwood Whaley : Recital solos for snare drum (Meredith music publications) より 1 番から 5 番の中から当日指定する曲
- (ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し、本学で用意するマリimbaで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。
 - J. S. Bach : ソナタ 第 1 番 ト短調 BWV1001
 - J. S. Bach : パルティータ 第 1 番 ロ短調 BWV1002
 - J. S. Bach : ソナタ 第 2 番 イ短調 BWV1003
 - J. S. Bach : パルティータ 第 2 番 ニ短調 BWV1004 より Ciaccona
 - J. S. Bach : ソナタ 第 3 番 ハ長調 BWV1005
 - J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

打楽器 (B)

- (第 1 日) (ア) Morris Goldenberg : Modern school for snare drum より 47 ページ < Roll exercise in 4/4 II >, 48~49 ページ < Etude in 6/8 > の中から当日指定する曲
- (イ) Garwood Whaley : Recital solos for snare drum (Meredith music publications) より 1 番から 5 番の中から当日指定する曲
- (ウ) Siegfried Fink : Trommel-Suite より Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)
- (エ) J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006 より Bouree Gigue (本学で用意するマリimbaで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

声楽専攻

- (第 1 日) 自由曲 : 歌曲あるいはアリア 1 曲 (宗教曲も含む)。演奏時間は 4 分程度とする。ただし、課題曲以外のものを選ぶこと。
- (第 2 日) 課題曲 : 下記の 15 曲の中から各自 4 曲を選ぶこと。その中から当日 2 曲を指定する。
 - (1) A. Scarlatti : Son tutta duolo
 - (2) A. Scarlatti : Le violette
 - (3) F. Gasparini : Lasciar d'amarti
 - (4) G.B. Bononcini : Per la gloria d'adorarvi
 - (5) F. Durante : Danza, fanciulla gentile
 - (6) G.B. Pergolesi : Se tu m'ami
 - (7) M.A. Cesti : Intorno all' idol mio
 - (8) G.B. Bassani : Dormi, bella
 - (9) W.A. Mozart : Ridente la calma
 - (10) A. Vivaldi : Vieni, vieni, o mio diletto
 - (11) F.P. Tosti : Invano !
 - (12) V. Bellini : Ma rendi pur contento
 - (13) F. Schubert : Frühlingsglaube
 - (14) R. Schumann : Die Lotosblume
 - (15) 中田喜直 : 風の子供

※注意 (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。

(2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。

- (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として移調されて歌われるものはその限りではない。
- (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性を願書に明記すること。
- (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
- (6) 伴奏者は、両日共本学において準備するので、同伴しないこと。

※伴奏用楽譜について

自由曲及び課題曲のためのピアノ伴奏用楽譜は、願書提出時に1曲につき2部ずつ提出すること。(自由曲2部、課題曲8部、計10部)

- (1) 1ページの大きさは、A4判(297mm×210mm)にすること。
- (2) 各ページが全開するよう横一連に綴じること。
- (3) 表紙に第1日・第2日の別、曲名、調、氏名を明記すること。
(表紙の右上部分には何も書かないこと。)

※伴奏用楽譜の送付方法

できるだけ角型2号の封筒(A4判が入る大きさ)に本要項末に綴じ込みの「楽譜送付票」を貼付し、差出人の住所、氏名等を記載し、**速達・簡易書留**で郵送すること。

※声楽専攻志望者のみ、「楽譜送付票」を貼付した封筒に、入学願書を同封すること。

(入学願書等提出用封筒は使用しなくてもよい。)

各専攻副科ピアノ課題曲

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 1 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を当日指定する。
速度は♩ = 76 M. M. 以上。
ハ長調 ト長調 ニ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調
(注) ハノン第39番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。
- 2 (A) J. S. Bach：平均律ピアノ曲集 第2巻より 前奏曲とフーガ 第7番 変ホ長調 BWV876
(B) J. S. Bach：2声のインヴェンション BWV772～786 より1曲又はシンフォニア(3声のインヴェンション) BWV787～801より1曲を自由選択
ただし、インヴェンション第10番ト長調、シンフォニア第5番変ホ長調、シンフォニア第6番ホ長調を除く。
(C) B. Bartók：ミクロコスモス 第4巻より 第98番 Thumbs under (親指を下へ)
(注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記1は必ず、2は(A)(B)の中から1つを選択し、演奏すること。
※弦楽、管・打楽、声楽及び音楽学専攻志願者は、上記1は必ず、2は(A)(B)(C)の中から1つを選択し、演奏すること。
※ 全て暗譜で演奏すること。(繰り返しはしない。)